

横越町閉町式典

明治34年（1901年）に横越村、沢海村、木津村、二本木村、小杉村の5か村が合併し、新しい横越村が誕生しました。それから104年間、横越村・横越町として歴史を刻んできました。

3月21日の新潟市との合併を前に、横越町閉町式を開催いたします。町民の皆様も自由にご覧いただけます。

- ◆日時 3月19日（土曜日）
開場：午前9時30分 開式：午前10時 終了：正午
- ◆会場 横越町総合体育館
- ◆内容 功労者の表彰、横越風OUUN太鼓演奏、^{さんばいし}棧俵神楽舞、横越中学校吹奏楽部演奏、横越ラビットクラブのダンス、横越町のあゆみDVD上映、町旗降納など
- ◆問い合わせ 総務課 ☎385-2111

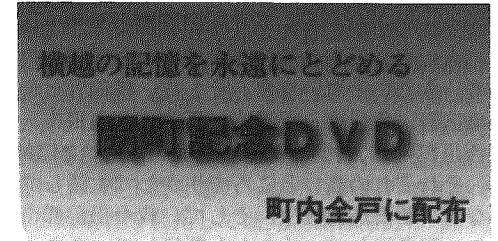
合併後の住所の表し方について

3月21日の合併日から住所の表し方が変わります。合併後の住所の表し方について、広報よこごし10月号と町ホームページに掲載しましたが、再度お知らせします。なお、郵便番号はこれまでと同じです。

- 「横越町」を「新潟市」に変えるだけでよい場合
(例：横越町 小杉 △丁目△番△号 → 新潟市 小杉 △丁目△番△号)
該当地区：横越上町、いぶき野、茜ヶ丘、沢海、阿賀野、木津、木津工業団地、二本木、小杉、平山、藤山、うぐいす、駒込（現在、「大字」が付いている場合は、大字がなくなった表示に変わります。）
- 町名に「横越」を付けて表示しなければならない場合
(例：横越町 中央 △丁目△番△号 → 新潟市 横越中央 △丁目△番△号)。
該当地区：上町、中央、東町、川根町、十二前

広報2月号掲載内容変更のお知らせ

- 小規模業者の登録制度 申込期間延長
広報2月号8ページに掲載した「50万円以下の工事が対象 小規模業者の登録制度」の申込期限が、2月28日から3月11日(金)まで延長されました。
- 閉町記念誌・支所ガイドブックの発行遅れます
広報2月号7ページにおいて、「閉町記念誌」と「横越支所ガイドブック」を広報3月号と一緒に配布するお知らせしましたが、都合により発行が遅れます。ご了承ください。
3月15日以降に各区長さんを通じて各家庭へ配布します。
- 広報の電子版、市ホームページへの掲載が遅れます
広報2月号6ページで、「広報よこごし創刊号から最終号まで、合併後の新潟市ホームページでご覧になれます」と掲載しましたが、都合により新潟市ホームページへの公開は少し遅れます。
新潟市ホームページへ掲載されましたら、横越支所ホームページ及び横越支所だよりでお知らせします。
- ◆問い合わせ 総務課 ☎385-2111



閉町記念DVDを作成し、3月15日以降に、閉町記念誌と支所ガイドブックとともに町内各家庭へ配布します。
横越町の観光や行事、歴史などの様々な様子、思い出深い写真などを収めているほか、横越町に寄せる住民の方々の声も収録しています。

◆問い合わせ 総務課 ☎385-2111



20世紀の幕開け 誕生した横越村

20世紀の幕開けとなった1901年（明治34年）11月1日、地域の発展と住民の豊かな生活を実現させるため、横越村、沢海村、木津村、二本木村、小杉村の5か村が合併し、新しい横越村が誕生いたしました。水害や地震、戦争など幾多の困難を克服し、自然を大切にしながら生活環境や教育・産業などの充実に積極的に取り組み、百年以上にわたり先人達が努力を続けてきた結果、発展する現在の横越町の姿があると言えます。

その合併から百年余りが経ち、時代は大きく変貌を遂げました。21世紀を

13市町村が広域合併

新潟都市圏では、将来に夢を託すことのできる、郷土の更なる飛躍を目指して、合併協議を重ねて参りました。

いよいよ今年21日、新潟市を中心とした13市町村が、小異を捨て大同に付くとの強い決意のもとで合併し、新潟市として歴史的な第一歩を歩み出すことになりました。また、10月10日には、巻町も新潟市に加わり、人口81万人の大都市となります。

今回の合併は、新潟地域に計り知れない大きな効果をもたらします。これまで各市町村が個々に実施してきた福祉、保健、環境、教育などの諸課題に対して広域的に対応できる上、各種事業の一体的、効率的な実施が可能となります。また、道路、公園、スポーツ、文化施設など社会資本の効率的な活用に加え、より多くの産業創出、世界

合併後も特色ある横越地域

横越地域は、新・新潟市の一翼として新しい出発を迎えます。私たちの地域は整備された広大な優良農地を有し、米、野菜、果樹、花き、畜産などの生産が行われ、合併後も新しい新潟市の大食料基地として一層その重要度が高まります。

また、日本海東北自動車道、国道49号、主要地方道大外環状道路など広域幹線道路の結節点となる二本木地区にJR信越本線の新駅が実現すれば、新市における交通の要所としてますます発展することが見込まれています。

さらに、阿賀野川・小阿賀野川を起点とする自然景観や豊かに広がる田園環境の整備と併せ、北方文化博物館な

地域審議会が決定します

新潟市に合併しても、行政窓口が遠くなるわけではありません。現役場は新・新潟市の横越支所として引き続き行政サービスを提供いたします。また、地域住民30名の構成による横越地区地域審議会が発足し、新潟市政における横越地域のまちづくり等の計画がきちんと実行されているかを審議し、新潟市長に意見を伝えます。住民サービスの低下とならないよう最大限努力して参ります。

合併により横越町として幕を閉じることとなりますが、私たちの地域がなくなるわけではありません。今回の合併は、夢のある将来へのスタート地点となります。

私たちの現在の豊かさは、先人達の長年にわたるご苦労の積み重ねの上に成り立っており、地域発展のために尽力されてこられた方々に改めて敬意と感謝を捧げるとともに、町政にご理解いご協力をくださいました多くの皆さまに対して心から感謝を申し上げ、閉町のあいさつといたします。

